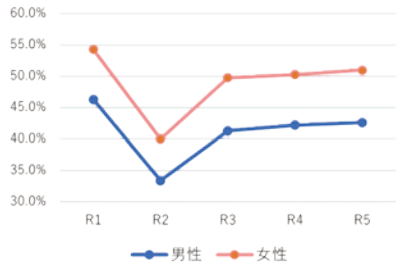
# 〈 国民健康保険加入者 市の現状 〉

※数値は令和5年度 KDB データによる

## 受診者の割合

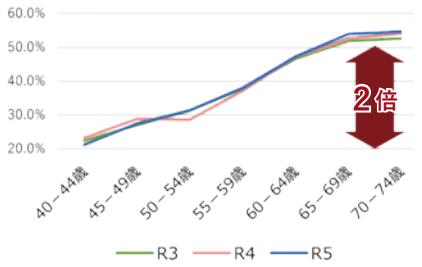
〈男女別・過去 5 年の国保特定健診受診率〉




コロナ禍で一時的に低下した受診率は、令和5年度にはコロナ禍前の水準に戻りつつありますが、未だに半分以上の人が受診の機会を逃しています。

## 受診者の年齢

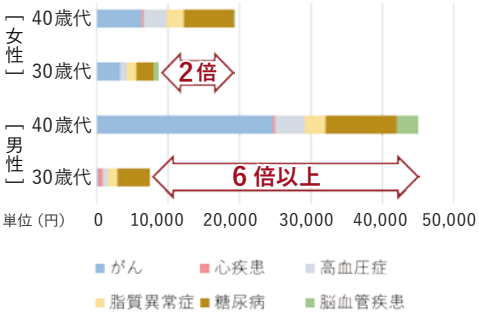
〈年齢別・国保特定健診受診率〉




受診率は年齢と比例し、**70 歳代は 40 歳代の 2 倍以上**です。このことから、若い年代ほど受診の機会を逃しています。

## 生活習慣病と医療費

〈R5 年度国保加入者 1 人あたり外来医療費〉



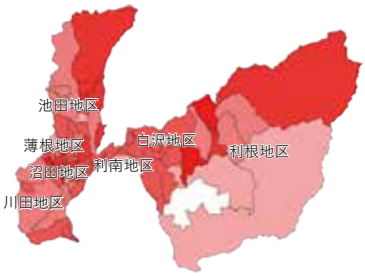

**40 歳代の外来医療費は、30 歳代と比較すると、男性は 6 倍、女性は 2 倍以上**です。年齢に関わらず、若年層の 40 歳代も健（検）診を受けることで、医療費が抑えられる可能性が高まります。

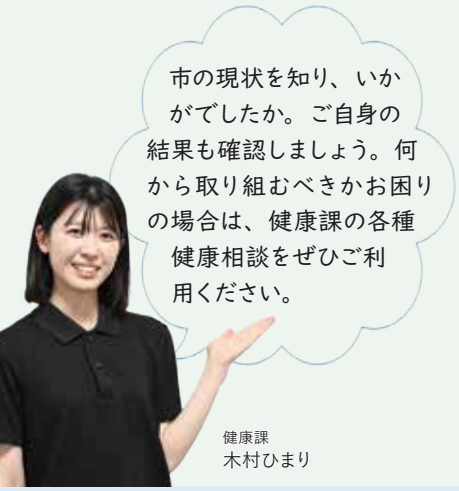
## 収縮期血圧※ が 130 以上の市の居住分布図

※一般的に「上の血圧」と呼ばれます

収縮期血圧が 130 以上の場合、**脳卒中・心不全・腎不全**などのリスクが高まります。図の地域は、色が濃くなるほど 130 以上の割合が高くなります。

※ GIS 地図データと令和 6 年度 KDB データ（特定健診受診結果）から作成




健康課
木村ひまり

**◆◆ 継続して受診している皆さんへ ◆◆**

いつも受診ありがとうございます。結果を比較することで体の変化に気づき、日々の健康管理に役立ちます。これからも継続した受診に努めましょう。

# 特定健康診査 を受けましょう

通院していない人に限らず、通院中の人も治療中の病気とは違う別の病気の早期発見にもつながります。痩せ型でも筋肉量が少ない人は、生活習慣病のリスクが進行している場合があります。早期発見は、命だけでなく、治療費や通院時間を減らすことができますので、まずは受診しましょう。

対象 **40 歳～74 歳**
内容 **メタボリックシンドロームや生活習慣病のリスクをチェックします**
※後期高齢者医療制度に加入している人（主に 75 歳以上）は、後期高齢者健診を受けられます

### ● 特定保健指導〈減る脂い（ヘルシー）教室〉

特定健康診査の結果から、生活習慣病のリスクがあると判断された人を対象に、生活習慣を見直すサポートを行っています。通知が届いた人はご利用ください。

### ● 40 歳からの特定健診

～国民健康保険特定健診受診推奨動画～

群馬県出身のお笑い芸人兼現役医師のしゅんしゅんクリニックＰが、特定健康診査を解説。

動画